

# 民主化闘争情報

No. 1016

2019年2月15日

発行 日本鉄道労働組合連合会  
(JR連合)

JR北労組自動車支部は、2月1日付で、ジェイ・アール北海道バスで働く仲間1名を組織拡大した。今回の拡大も職場での日頃からの世話役活動に取り組んだ成果であり、JR北労組運動の正当性が理解された結果である。

## JR北労組自動車支部

### ジェイ・アール北海道バスで働く仲間

## 世話役活動が実り1名が新たに加わりました！

## ジェイ・アール北海道バスで過半数組織をめざす

JR連合は、JRバス労働界において、自動車連絡会の政策課題解決能力を磨き発揮していくことが、組織強化、組織拡大、さらには民主化闘争完遂にも繋がるものと確信し、全国のジェイアールバスの仲間とともに取り組みを進めている。

昨年通常国会において可決された「働き方改革関連法案」の附帯決議に盛り込まれた「改善基準告示の見直し」の検討が、本年4月から労働政策審議会や分科会での議論が開始されることとなっている。

JR連合は、昨年10月、JR北労組自動車支部をはじめ各ジェイアールバスの約2千名の仲間を対象に、2019春季生活闘争にむけて、「第5回JRバス関係労働者における賃金・労働条件等実態等調査」を実施した。今後、各労組・地本・支部において、調査結果をもとに魅力あるバス産業の構築にむけて賃金および働き方を見直していくための労使交渉に反映していく。

また、2月1日に自動車連絡会幹事会を開催し、バス運転者の拘束時間や次勤務までの休息期間、連続勤務日数などに関する実態を共有し、同日、これらを中心課題として国土交通省自動車局との意見交換会を実施した。今後、自動車連絡会として意見をとりまとめ、交運労協の一員としても積極的に意見具申していくこととする。

## JR連合はジェイアールバス産業の責任産別として政策課題の解決に取り組む

JR北海道労組（北鉄労）への革マル派浸透実態については、警察の監視・実態解明対象であることを政府が指摘している。JR連合は、自動車連絡会およびJR北労組と連携し、ジェイ・アール北海道バス会社の民主化に全力で取り組んでいく。

## 今こそJR連合・JR北労組に結集しよう！